

目指す学校像「教師が、児童が、気力に溢れ、真剣な眼差しと笑顔に満ちた学校」



みずたに

9月号

令和5年8月25日

水谷小開校150周年記念「水谷小マスコット決定！」

校長 大島 仁

本年度、開校150周年であることから、記念事業として水谷小学校のマスコットを作ろう！ということになり、児童会が中心となって、全校児童からマスコットの原画を募集しました。241名の児童からかわいらしい原画が寄せられ、児童による投票で原画が決まりました。この原画は制作会社に預け、正式なマスコットが出来上がります。どのようなマスコットになるのか楽しみです。また、決定した原画を元に児童にマスコットの名前を募集しました。多くの名前が寄せられ、児童の投票により、「かめるん」に決定しました！名前から予想されるように、原画と名前は、飼育・栽培委員会がお世話してくれている「カメ子」がもとになっています。私たち教員が思っている以上に児童にとってカメ子は身近な存在であることがわかりました。原画も名前も「カメ子」にちなんだものがとても多かったです。カメ子がいつから水谷小にいるのか調査しましたがわかりません。ですが少なくとも19年前にはすでに水谷小学校にいたことは確かです。もし、ご存じの方がおられましたら教えてください。カメ子をグーグル画像検索したら、クサガメであることがわかりました。クサガメは、日本全土の河川、湖、池沼、湿原に生息していますが、個体数は激減しているそうで

す。中国や韓国にも生息しており、国外から人為的に移入されたと推測されています。水谷小学校のマスコットのもとになったカメ子。これからもずっと元気で水谷小学校も児童に愛され続けてほしいと思います。なお、開校150周年記念実行委員会は、この「かめるん」のスタンプを業者に制作を依頼し、教員に配布してくれます。児童が一生懸命に取り組んだ学習成果物（ノートやプリント類）に「かめるん」のスタンプが押されることとなります。きっと喜んでくれると思っています。



<決定した原画>

カメといえば、「うさぎとかめ」のお話がよく知られていると思います。このお話の教訓は、「自信をもつことはよいが、相手を馬鹿にしたり、怠けることになったりしてはいけません。」とか「まじめにコツコツ努力しましょう」という「自信過剰」「油断大敵」を戒めるお話だと捉えるのが一般的だと思いますが、競争をしているうさぎとかめの大きな違いは、「うさぎはカメを見ている」「かめはゴールを見ている」ことだと思います。そのことから、「ゴールは何かを見極め、競争相手に惑わされることなくゴールを見ることの大切さ」を教えてくれています。2学期は、音楽会や陸上大会、持久走記録会など大きな行事がたくさんあります。自分やクラス、学年のゴール（目標）を目指し、真剣な眼差しと笑顔溢れる学校生活を送って欲しいと願っています。